

平成20年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしこい・そして心身ともにたくましい人づくり			
施 策 名	気持ちよく、安全・安心な学びの場の環境整備		
評 価 担 当 課	教育委員会管理課	所 管	管 理 課
施 策 目 標 (目指すべき状態)	・学校施設においては、校舎等の耐震補強、エレベーターの設置、バリアフリー化を図り、安全で快適な環境を整える。 ・給食センターにおいては、作業効率の改善と衛生管理面から厨房備品を更新し安心で安全な給食を提供する。また、地産地消の推進を図る。 ・社会教育施設においては、老朽化施設を改修し安全性と利便性を図り、住民の健康づくりを推進する。 ・教育委員会は委員会の公開と点検・評価を公表し、開かれた教育委員会を目指す。		
施策を取り巻く環境	・20年度当初、校舎等の耐震補強は31棟のうち24棟が整備済みで耐震化率77.4%である。また、エレベーターの未設置の学校もあり、障がい者にもやさしいユニバーサルデザイン化が望まれている。 ・3つの給食センターがあり、それぞれが課題を抱えている。老朽化及びウェット方式のセンターを早急に統合し、安全で安心な給食の提供が望まれる。 ・開かれた教育委員会への期待。		
施 策 の 達 成 状 況	・本年度8月に中町南小学校中学校の耐震補強が完成し、耐震化率80.6%になった。また、2次診断も87.1%済んで、残るは3校舎、3体育館を残すのみとなった。 ・給食センターでの地産地消は、重量ベースで11%が11.5%に僅かではあるが増加した。(7,800kg/68,000kg) ・教育委員会評価委員が選任され、外部評価が得られることとなった。		
今 後 の 課 題	・耐震化補強を平成26年度までに完了すること。 ・小学校の統合。 ・3給食センターの統合。 ・社会体育施設の老朽化による改修。 ・教育委員会の公開方法。		
講 評	-1 学校施設の耐震化はロードマップを作成し、H26年度耐震化率100%に向けて推進すべきである。小学校の統合は今後の大きな課題であるが事務事業にあげられていない状況では講評できない。 -2 バリアフリー化は成果が上がっているが、経年劣化による老朽化がある現状で予算規模が1/3になっているのは矛盾している。ロードマップをつくるべきである。 -3 3センター統合を数値目標に上げ、実施に当たっては住民の意見を聞くべき。地産地消の実績は評価する。 -4 単年度事業であるので完成させたことで妥当といえる。 -5 全般として指標化しにくい、開かれた教育委員会を目指す中で外部評価を取り入れたことは評価できる。教育委員会の公開をどうするかが検討課題である。		

施策を構成する事務事業の状況

事 務 事 業 名	経費の概算(千円)		自己 評価	評価委員 意 見	担当課・所管
	H19	H20			
-1 学校施設整備事業	301,747	271,375	4	妥当である	学校教育課
-2 児童・生徒の安全・安心対策事業	10,736	12,180	4	評価が少し高すぎる	学校教育課
-3 安全で安心な学校給食の提供	138,319	139,930	3	妥当である	学校給食センター
-4 ガルテン八千代テニスコート改修工事	0	25,109	4	妥当である	管理課
-5 教育委員会運営事業	5,898	6,522	3	妥当である	管理課

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。